

### 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	係留施設における重量物取扱いに関する構造検討業務
業 務 概 要	本業務は洋上風力発電事業における建設基地を整備するため、能代港の既存護岸を増深改良し、重量物を取り扱うことができる係留施設の構造検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 仙台港湾空港技術調査事務所副所長 工藤 昭光 国土交通省東北地方整備局仙台港湾空港技術調査事務所 宮城県仙台市宮城野区榴岡5 - 1 - 35
契 約 年 月 日	令和元年7月29日
契 約 業 者 名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 東北支社 支社長 木村 誠
契 約 業 者 の 住 所	仙台市青葉区一番町一丁目9番1号
契 約 金 額	30,800,000 円(税込)
予 定 価 格	31,513,736 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 ( 自 )	令和元年7月29日
履 行 期 間 ( 至 )	令和2年2月28日
備 考	

**備考**

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

令和元年度

## 随意契約理由書

1. 業務の名称 係留施設における重量物取扱いに関する構造検討業務
2. 契約業者名 パシフィックコンサルタンツ株式会社
3. 随意契約理由

本業務は、洋上風力発電事業における建設基地を整備するため、能代港の既存護岸を岸壁に増深改良し、重量物を取り扱うことができる係留施設の構造検討を行うものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった全ての者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と配置予定管理技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位であるパシフィックコンサルタンツ株式会社を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項の規定に基づき、パシフィックコンサルタンツ株式会社と随意契約を行うものである。